

『日本内視鏡外科学会雑誌』28 巻 6 号から、新しい企画として「video articles」の掲載を開始いたしました。「video articles」は、教育・模範的な症例、独自の手術手技の工夫、術中合併症への対応や困難症例に関する動画論文です。本文は 1,000 字以内と短めで、合計 5 分以内の動画に音声または字幕で解説が加えられています。論文トップページの URL にアクセスするか QR コードを読み込むだけですぐにストリーミング再生が可能ですので、スマホや PC からのアクセスが迅速かつ容易です。いつでも手軽に、かつ peer review を経た高画質のビデオ論文を通して学習できることは、内視鏡外科手術に特化した本誌ならではの新しい強みとしてアピールしたいところで、今号は、その「video articles」3 編、「症例報告」8 編、「私の工夫」1 編から構成されています。

まず、「video articles」から紹介いたします。(1) 清水論文では、逆トレンデレンブルグ体位で行う肝臓転行・ロボット支援腹腔鏡下右副腎摘出術について、音声付き動画で解説されています。(2) 足立論文は、脾弯授動を伴う腹腔鏡下結腸切除術の際に、横行結腸間膜無血管野から網嚢内にアプローチする手技の解説です。(3) 高橋論文では、腹腔鏡下幽門側胃切除術における No. 6 と No. 8 a リンパ節郭清の術野展開に関し、それぞれ模範的症例と不十分な郭清症例の 2 例ずつが提示されており、なぜ不十分であるかも説明されています。

「症例報告」は、(1) 腹臥位 CT が膀胱閉鎖孔ヘルニアの術前診断に有用であった症例を報告した久原論文、(2) 腹腔鏡下脾部分切除術の意義・術中の実質切離と切離断端の止血制御法に着目した河島論文、(3) 頻回の再発を繰り返す腸重積症に対する腹腔鏡下虫垂切除・回盲部固定術を報告した遠藤論文、(4) 結腸憩室炎に起因する結腸子宮瘻（極めて稀）の腹腔鏡手術例を報告した山田論文、(5) 肛門外に脱出した S 状結腸腸重積例に対する腹腔鏡下腸管切除吻合例を報告した戸嶋論文、(6) ロボット支援腹腔鏡下手術の 8 mm ポート創にヘルニアが嵌頓し修復を行った廣瀬論文、(7) 傍ストーマヘルニアに対して腹腔鏡下 Sandwich plus 法による修復を行った草深論文、(8) 3D-CT シミュレーションを駆使し肺静脈の分岐形態を捉えた胸腔鏡下肺区域切除術を紹介した加藤論文（付属の動画構成がわかりやすい！）、の 8 編です。

「私の工夫」川崎論文では、T4b 大腸癌に対する腹腔鏡下手術の“4 つの共通戦略”を掲げた取り組みについて、症例提示と治療成績のほか、手術手技の動画閲覧が可能です。いずれも読み応えのある、実践的かつ教訓的な内容です。

(辻仲眞康)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第 28 巻 第 6 号) 2023 年 11 月 15 日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

(1 部) 価格：3,080 円 (本体 2,800 円 + 税 10%)

2023 年 年間購読料：18,018 円 (税込) *学会員は学会ホームページから閲覧できます。

編集・発行：日本内視鏡外科学会 (代表：坂井義治)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 日本コンベンションサービス株式会社内

☎ 03-3503-5917 Fax 03-3508-1257 E-mail: info-jses @ convention.co.jp (担当：平澤)

<http://www.jses.or.jp>

発 売：(株)医学書院 (代表：金原 俊) (本誌担当：小山, 小路)

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 / E-mail: jses @ igaku-shoin.co.jp)

販売・PR 部直通 ☎ 03-3817-5659 (Fax 03-3815-7804)

電子出版コード 260F2600028006000000

- ・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は日本内視鏡外科学会が保有します。
- ・本誌を無断で複製する行為は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療、研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・JCOPY (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物) 本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(株) 出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。